

工房の日々 ～工房内就労～

① 名刺作成

春頃より市内の事業所と工房附近の酒店などから 7 件の名刺作成の注文を頂きました。

しかし民間の印刷屋や IT 技術の先端を走っている他の地域活動支援センターや作業所のように、イラストレーターなどのソフトを使っての名刺作成技術がまだ習得できていないとか、名刺作成用の印刷機など備品も揃えきれていません。そのため、使いやすいフリーソフト「ラベル屋さん」(名刺やラベル印刷)を使い、所内に備え付けのインクジェットの一般のプリンタを使って注文を受けています。ただ、品質やデザインは、民間の印刷会社などに負けないように、所員・スタッフともに工夫を凝らしながら作っています。

「ラベル屋さん」は、フリーソフトのため「文字揃え」や「行揃え」などレイアウトの微調整がしにくく、文字と文字の間に半角スペースを入れたりして文字列の配列を揃えたりして、一苦勞、二苦勞もしています。

お客様のニーズに応えるためには、お客様が希望される名刺の図柄などをインターネット上にあるフリーの画像からダウンロードし画像編集ソフトでダウンロードした画像の明るさや大きさ等を調整し、画質を落とさずにラベル屋さんに適した画像ファイル形式に変換するなどの工夫も必要となります。

また名刺だけに限らず、他の「チラシ作成」や「ホームページ作成」などの業務全般に言えることなのですが、やはり納品する製品の品質を向上させるためには、製品を作成した所員・スタッフ以外の者による校正が必要不可欠で、実際に名刺のお名前の漢字が一文字違っていることを作成者が見落としていたことが名刺を 100 枚印刷した後に分かり、慌てて再度 100 枚を刷り直したという苦い思いをしたこともありました。

それ以降、試し刷りをしたあと、必ず製品を作成した所員・スタッフ以外の者による校正を行い、品質の向上に努めています。

② サイト「市民活動の広場あまがさき」のモニタ

昨年の秋頃より、当工房の協力団体の NPO 法人障害者情報ネットワーク尼崎と尼崎市との市民参加型協働事業で運営されている市内における市民活動を紹介しているポータルサイト「市民活動の広場あまがさき」のホームページ (<http://amahiroba.info>) のモニタを工賃仕事として、情報ネットワークから当工房が請け負い、今 5 名の所員が担当しています。

5 名の所員が、各担当している週ごとに、地区会館・中央公民館・立花プラザなどの市内の主要な施設に向き、市内の市民活動のイベントなどに関するチラシを集めてきて、集めてきたチラシをスキャナーで取って、PDF ファイルにしてホームページからいつでもチラシとイベント情報が気軽に閲覧できるようにしています。

また市内の施設や市民活動団体のホームページを分担してモニターし、市民活動イベントの情報を収集されています。必要とするところへは連絡して掲載の許可をいただき、このサイトのイベントカレンダーに書き込まれています。

このような所員さんの日頃の活躍により「市民活動の広場あまがさきのホームページにアクセスすれば、2 ヶ月先のイベント情報までひと目でわかる」という好評を多数頂いています。

これからも所員・スタッフ一体となって当サイトを盛り上げていくことができればと思っています。

6 月の予定

6/18(月) 須磨水族園

10:30 JR 立花駅集合か

12:00 現地集合

入場料：無料

※ 当日は必ず障害者手帳を持参して下さい。
交通費・昼食代は各自実費負担です。



避難訓練を行いました・・・

6月4日、午後より今年度第1回目の避難訓練を行いました。

今回は大庄地域を管轄している西消防署より、4名の消防士の方が来て下さり、実際に火事などの緊急時の通報訓練や消火器を使った初期消火訓練の実技指導や防災に関する講話をして頂きました。

初めにスタッフで実際に「パソコンの電源コードがショートし火事になった」という想定で電話やFAXによる119番への通報訓練をしました。

私自身、言葉が不自由な為、「私以外のスタッフが不在の時、もし工房に火事とかの緊急事態が生じたとき、言葉が不自由な理由で通報が遅れてしまったらどうしようか」と聞所当時より思っていました。通報訓練の際に消防署の方から「言語障害がある人のためにFAXによる119番への通報サービスもある」と聞き実際に訓練して、私自身にとっての不安材料がひとつ消えた気がします。



通報訓練の後、当日通所していた所員とスタッフ全員で駐車場にて消防士の方の指導の下で練習用の水消火器を使って、消火訓練を行いました。

次回の避難訓練は11月に実施する予定なので所員のみなさんは積極的な参加をお願いします。
(文：曲 圭子)

災害時などにおける注意事項

- ・119通報するときは、名前・住所・目印になる建物(例・啓明中学の北2筋目、関電の社宅前)や火災の場合は火事の規模や出火要因を、緊急の場合は症状の度合い等を明確に伝える。
- ・消火器は、初期消火以外は使わず、まずは安全なところへ避難することを第一に考える。
(消火器は、15秒ほどしか初期消火の役割を果たす粉末しか出ないので)
- ・地震の津波発生時はセンタープールの3階以上に避難する。
- ・大雨や台風時は無理に工房へ通所せず、自宅で待機する。
(午前7時段階で兵庫県南部及び阪神地域に大雨・洪水・波浪・暴風・風雪・大雪などの警報が発令された場合、臨時休所となります。)

研修の合間に沸きたてコーヒーを飲んでくつろぎませんか?

所員さんに研修の合間に沸き立てコーヒーを飲んで休憩してもらったり、また昼休みとかに他の所員さんとスタッフとコーヒーを飲みながら、会話を楽しんで少しでもリラックスしてもらうことを目的で工房内の福利厚生として、今月初めにコーヒー会社のユニマットとコーヒーサーバーのレンタル契約(補助金収入以外の寄付金などから支出)を結びコーヒーメーカーを設置しました。

やっぱり、コーヒー豆から作る沸き立てコーヒーは、香りも良く味わいがあり、とてもいいものです。

ぜひ皆さんも研修の合間に沸き立てコーヒーを飲みながら休憩してみませんか?
適度に研修の合間に休憩を取り入れることで、脳もリラックスすることができ、研修の効率なども上がるのではないのでしょうか?

